

2021年

2021年12月1日
札幌管区气象台 気象防災部
地球環境・海洋課

北海道地方 11月の天候

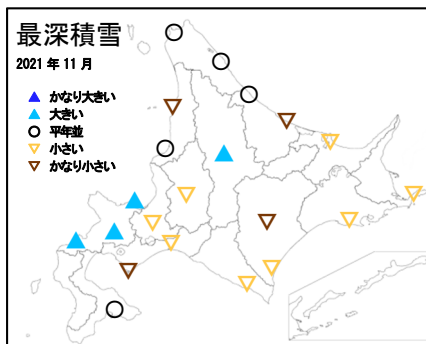
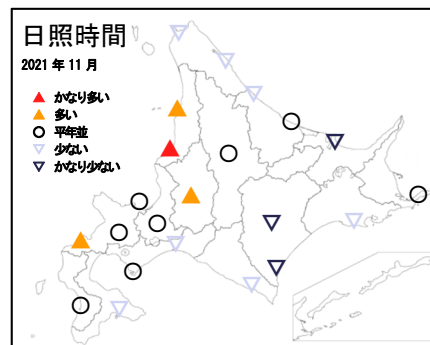
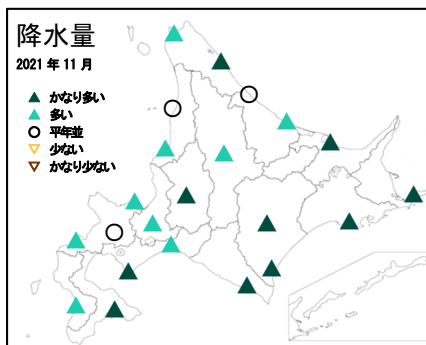
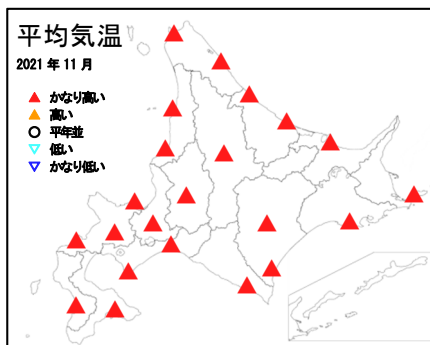
概況

— 寒気の南下が弱く記録的高温。上旬は太平洋側で記録的多雨・寡照。下旬は大雪も。 —

11月は、期間を通して冬型の気圧配置が長続きせず、寒気の南下が弱かったため気温の高い日が多く、1946年の統計開始以降、北海道地方の月平均気温の平年差は、11月として高い方から第2位の記録となった。上旬は、低気圧や前線の影響で太平洋側を中心に曇りや雨の日が多く、記録的な大雨となった所があった。中旬は気圧の谷や西高東低の気圧配置の影響で、日本海側を中心に雨や雪の日が多かった。下旬は冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪や雨が降り、日本海側北部では記録的な大雪となった所もあった。

気温は、上旬と下旬は平年より高く、中旬はかなり高く、月平均気温はかなり高かった。降水量は、上旬は平年よりかなり多く、中旬は少なく、下旬は多く、月降水量はかなり高かった。日照時間は、上旬は平年より少なかったが、月間日照時間は平年並だった。降雪量は、上旬と中旬は平年よりかなり少なく、月降雪量は少なかった。なお、上旬の太平洋側の降水量（多い方）と日照時間（少ない方）の平年比は第1位、中旬の北海道地方と太平洋側の平均気温の平年差は、高い方から第1位の記録となった。（旬の統計期間：平均気温・降水量は1946年～、日照時間は1961年～）

階級分布図



月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.1	++	165	++	99	0	31	-
日本海側	+2.1	++	126	+	110	0	50	-
オホーツク海側	+2.0	++	145	+	88	-	35	-
太平洋側	+2.0	++	224	++	90	-	8	--

注) ・数値は、地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

旬の統計値（地域平均）

上旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.0	+	277	++	87	-	0	--
日本海側	+2.0	+	150	+	117	+	0	--
オホーツク海側	+1.5	+	220	++	49	--	0	--
太平洋側	+2.2	++	466	++	68	--	0	0

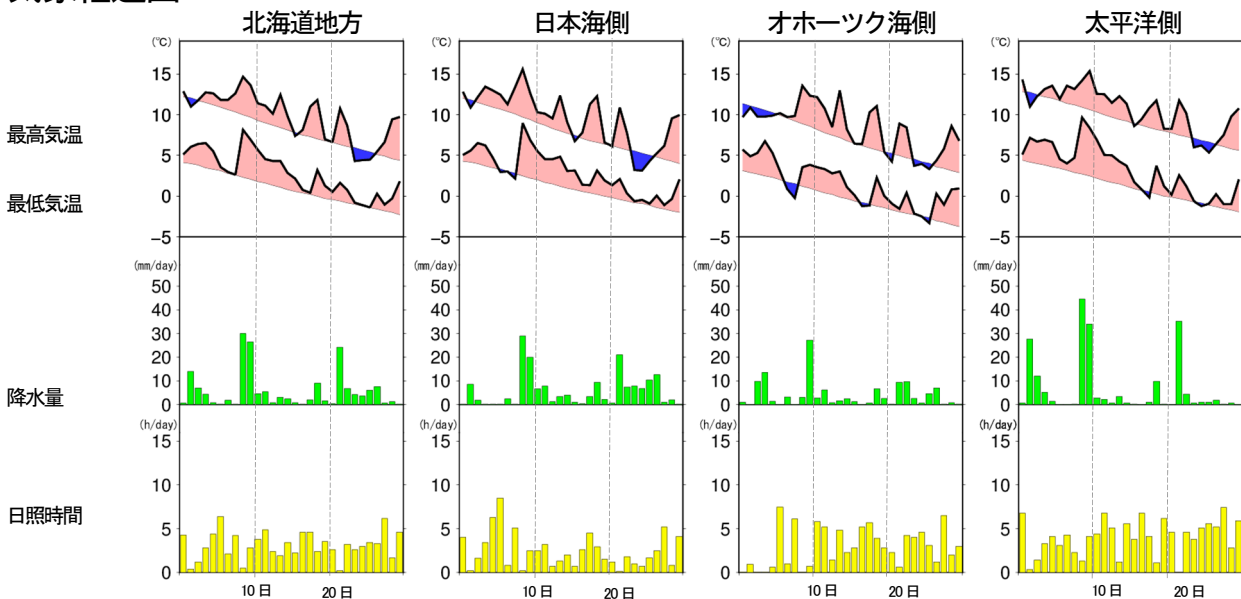
中旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.6	++	73	-	107	0	0	--
日本海側	+2.8	++	80	-	106	0	0	--
オホーツク海側	+2.6	++	72	0	121	+	0	--
太平洋側	+2.4	++	64	0	101	0	0	--

下旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.7	+	155	+	100	0	54	0
日本海側	+1.7	+	156	++	101	0	83	0
オホーツク海側	+1.9	+	128	+	100	0	61	-
太平洋側	+1.5	+	167	+	100	0	14	-

注) ・数値は、地域内の気象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

気象経過図



日別の天気概況

上旬

- 1日：高気圧に覆われて太平洋側を中心に晴れた所が多かったが、オホーツク海側では湿った気流により雨が降った。
- 2日：低気圧の影響で日本海側南部と太平洋側を中心に雨が降り、太平洋側西部では記録的な大雨となった所があった。日降水量は木古内で221.0mmなど。
- 3～4日：低気圧を含む気圧の谷の影響で北海道の広い範囲で雨が降ったが、日本海側と太平洋側西部では晴れた所が多かった。日降水量は3日に標津町糸櫛別で67.0mmなど。
- 5～6日：高気圧の張り出しの中で晴れた所が多かったが、湿った気流や上空の寒気の影響で雨の降った所もあった。
- 7日：寒冷前線の通過により日本海側とオホーツク海側では雨が降ったが、次第に高気圧の張り出しの中となり夕方から晴れた。
- 8日：はじめ高気圧の張り出しの中で晴れた所が多かったが、低気圧の接近に伴い夜には雨の降った所もあった。
- 9～10日：前線を伴った低気圧の通過により全道的に雨が降り、オホーツク海側と太平洋側を中心に大雨となった所があった。日降水量は10日に斜里町宇登呂で176.0mmなど。

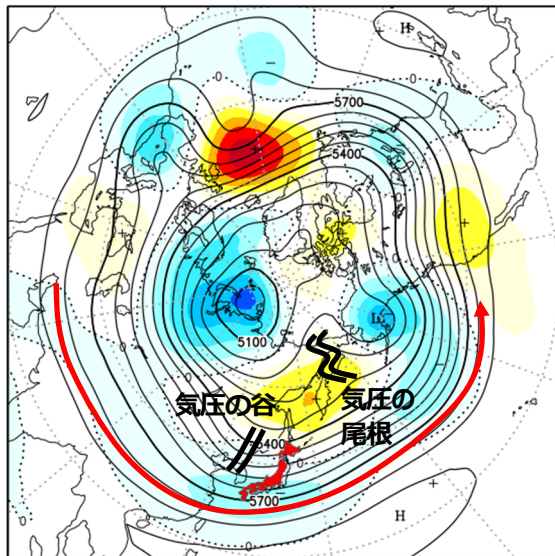
中旬

- 11～13日：低気圧と気圧の谷の影響で北海道の広い範囲で雨が降ったが、晴れた所もあった。
- 14日：低気圧からのびる前線の通過により日本海側と太平洋側西部で雨が降った。
- 15～16日：西高東低の気圧配置と上空の寒気の影響で、日本海側とオホーツク海側では雨や雪の降った所が多かったが、太平洋側東部では晴れた所が多かった。
- 17日：はじめ西高東低の気圧配置の影響で日本海側北部を中心に雪や雨が降ったが、次第に高気圧の張り出しの中となり昼過ぎから晴れた。
- 18日：はじめ高気圧に覆われて晴れた所が多かったが、前線を伴った低気圧の接近により日本海側と太平洋側西部では昼過ぎから雨が降った。
- 19日：前線を伴った低気圧の通過により全道的に雨が降り、夜には寒気の影響で日本海側を中心に雪の降った所があった。宗谷地方では大荒れの天気となった所があった。
- 20日：はじめ冬型の気圧配置の影響で日本海側とオホーツク海側では雪や雨が降ったが、次第に高気圧に覆われて太平洋側を中心に晴れた。

下旬

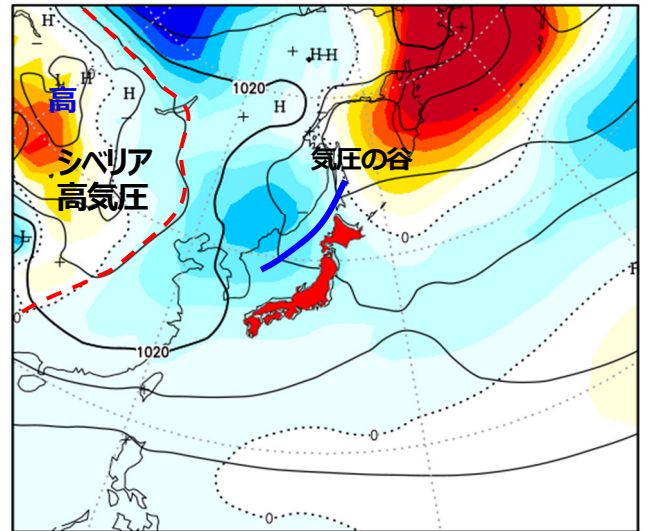
- 21日：上空の寒気の影響で日本海側では雪や雨の降った所があったが、太平洋側では晴れた所が多かった。
- 22日：低気圧からのびる前線の通過により全道的に雨や雪が降り、太平洋側を中心に大荒れの天気となった所があった。日降水量はえりも町目黒で131.0mmなど。
- 23日：はじめ低気圧の影響で全道的に雨が降り、次第に冬型の気圧配置となって日本海側を中心に雪が降った。
- 24～27日：冬型の気圧配置の影響で日本海側を中心に雪が降り、日本海側北部では記録的な大雪となった所もあったが、太平洋側では晴れた所が多かった。日降水量は24日に小平町達布で74.0mm、日降雪量は24日に幌加内町朱鞠内で60cmなど。
- 28日：はじめ冬型の気圧配置の影響で日本海側では雪の降った所があったが、次第に高気圧の張り出しの中となり晴れた。
- 29日：低気圧からのびる前線の通過により日本海側を中心に雨や雪の降った所があった。
- 30日：前線を伴った低気圧の接近により日本海側では夕方から雨の降った所があった。

11月の大気の流れと地上天気図の特徴



北半球の月平均500hPa高度と平年偏差
(平年値は1991~2020年の平均値)

実線は500hPa高度 (m)、着色は平年偏差 (m)。平年偏差が暖 (寒) 色の領域は平年より高度が高 (低) く、一般に暖 (寒) 気に覆われやすい。上空では、風は等高度線に沿って西から東に吹いている。等高度線が南北に波打っている所で偏西風が蛇行しており、等高度線の間隔が狭い所では偏西風が強い。



日本付近の月平均海面気圧と平年偏差
(平年値は1991~2020年の平均値)

実線は等圧線 (hPa)、着色は平年偏差 (hPa)。平年偏差の暖 (寒) 色は、平年より気圧が高 (低) い領域。寒色の領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

500hPa (上空約5500m) 天気図

南の偏西風 (赤実線) は、東シナ海付近で南に蛇行し、西日本中心に寒気が流れ込みやすかった。一方、カムチャツカ半島付近が気圧の尾根となり、中国東北区付近は気圧の谷となったため、北海道付近は南から暖かい空気が流れ込みやすかった。

地上天気図

シベリア高気圧が平年より弱く、カムチャツカ半島付近では平年より気圧が高かったため、北海道付近は冬型の気圧配置が長続きしなかった。朝鮮半島の北側は低圧部となり、北海道の北を低気圧が通りやすかった。また、サハリン南部から日本海にかけて気圧の谷 (青実線) となっており、北海道付近は前線や気圧の谷の影響を受けやすかった。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級	本年 cm	平年値 cm	階級	本年 cm	平年値 cm	階級
稚内	6.1	+2.3	++	157.5	130	+	42.9	77	-	18	41	-	14	15	0
北見枝幸	4.9	+1.9	++	197.5	159	++	67.8	86	-	43	59	0	24	23	0
羽幌	6.4	+2.0	++	183.0	114	0	75.2	141	+	5	44	--	4	18	--
雄武	4.8	+1.9	++	93.0	120	0	89.4	91	-	16	31	-	12	13	0
留萌	6.4	+2.0	++	173.5	124	+	78.2	151	++	17	35	-	9	13	0
旭川	4.5	+2.2	++	145.5	127	+	71.6	106	0	44	82	-	31	27	+
網走	6.0	+2.0	++	105.0	181	++	94.5	78	--	1	13	-	1	6	-
小樽	7.0	+2.1	++	179.0	117	+	72.7	91	0	40	36	0	30	15	+
札幌	7.3	+2.1	++	153.5	135	+	105.1	106	0	4	30	--	2	15	-
岩見沢	6.1	+2.2	++	193.5	163	++	94.3	111	+	19	70	-	17	29	-
帯広	5.3	+1.8	++	146.0	269	++	122.3	73	--	-	10	--	-	7	--
釧路	6.8	+2.1	++	228.0	352	++	156.0	93	-	-	4	-	-	3	-
根室	7.5	+1.9	++	138.0	166	++	144.6	98	0	-	2	-	-	2	-
寿都	7.7	+2.1	++	170.0	115	+	61.7	112	+	20	24	0	12	9	+
室蘭	8.7	+2.3	++	141.0	169	++	111.6	109	0	-	5	--	-	2	--
苫小牧	7.0	+2.1	++	123.5	144	+	114.4	90	-	-	4	-	-	3	-
浦河	8.1	+2.0	++	193.0	231	++	109.4	90	-	-	4	-	-	2	-
江差	9.7	+2.2	++	141.0	119	+	69.7	106	0	×	6		×	2	
函館	8.1	+2.1	++	209.5	189	++	100.0	91	-	12	18	0	7	9	0
倶知安	4.9	+2.0	++	211.5	116	0	63.3	97	0	58	95	-	46	36	+
紋別	5.6	+2.0	++	78.0	121	+	101.1	98	0	1	21	--	1	9	--
広尾	7.2	+2.0	++	342.0	268	++	112.0	75	--	-	5	-	-	4	-

注) ・平年値は1991～2020年の30年間の平均値です。

- ・階級の++は平年よりかなり高い(多い、大きい)、+は平年より高い(多い、大きい)、0は平年並、-は平年より低い(少ない、小さい)、--は平年よりかなり低い(少ない、小さい)を示す。
- ・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。「×」付きの値は欠測のために月合計値が求められない場合を表す。
- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
11月	月平均気温の高い方から	第1位	釧路	6.8℃	+2.1℃	6.4℃(1990)	1910
			根室	7.5℃	+1.9℃	7.4℃(1990)	1879
			室蘭	8.7℃	+2.3℃	8.7℃(2004)	1923
		第2位	広尾	7.2℃	+2.0℃	6.9℃(2004)	1958
			網走	6.0℃	+2.0℃	6.5℃(1990)	1889
			小樽	7.0℃	+2.1℃	7.1℃(1997)	1943
			札幌	7.3℃	+2.1℃	7.5℃(1990)	1876
			帯広	5.3℃	+1.8℃	5.4℃(2004)	1892
			寿都	7.7℃	+2.1℃	8.0℃(2004)	1884
			苫小牧	7.0℃	+2.1℃	7.3℃(1990)	1942
			浦河	8.1℃	+2.0℃	8.2℃(1990)	1927
			江差	9.7℃	+2.2℃	9.9℃(2004)	1941
		第3位	紋別	5.6℃	+2.0℃	6.3℃(1990)	1956
			稚内	6.1℃	+2.3℃	6.4℃(1997)	1938
			羽幌	6.4℃	+2.0℃	6.8℃(2004)	1921
			雄武	4.8℃	+1.9℃	5.3℃(1990)	1942

		留萌	6.4 °C	+2.0 °C	6.9 °C (2004)	1943
		旭川	4.5 °C	+2.2 °C	4.7 °C (1997)	1888
		岩見沢	6.1 °C	+2.2 °C	6.5 °C (1990)	1946
		函館	8.1 °C	+2.1 °C	8.3 °C (2004)	1872
月降水量(多い)	第1位	釧路	228.0 mm	352 %	200.5 mm (1977)	1910
	第2位	広尾	342.0 mm	268 %	359.5 mm (1990)	1958
	第3位	浦河	193.0 mm	231 %	213.5 mm (1979)	1927
月間日照時間(少ない)	第2位	広尾	112.0 h	75 %	111.5 h (1964)	1958

※データは速報値であり、後日変更される場合があります。

お問い合わせ先 札幌管区气象台 気象防災部 地球環境・海洋課
 TEL (011) 611-6174